取り組みが必要と考える

が、今後の進め方について

町政を問う!

3月定例会では4人の議員が一 なお、質問と答弁は要約してあります。 項目にわたって理事者の考えをただしました。 一般質問にたち

阻止運動を P 的に P

対であり、昨年から役場正

TPP交渉には断固反

高薄町長

民に対して啓発活動 面に懸垂幕等を設置し、町

を

とどまらず、暮らしや医療 定)参加が、農林水産業に 木村好孝 議員 TPP(環太平洋連携協 や関係団体と連携しなが 行っている。

今後も、反対運動をJA

を設定するなど積極的な 経過と、「町民大会」的な場 変わりつつある。 がりつつあり、国民世論も て、阻止運動が全国的に広 町としての阻止運動の

実が明らかになるにつれ 制度など広範な分野にわ たり、重大な影響が及ぶ事 たい。 についても検討していき ら継続していき、町民集会

コミュニティ スの運行は

木村好孝 議員

年12月から試験運行を 行っている町内巡回バス 地域公共交通として、昨

> 民にとって「町内移動をま 考えられる。 面からも重要性が高いと 者・障害者支援という福祉 かなう交通」として、高齢 、利用者数を伸ばし、町

継続すべきである。 間をおかずに試験運行を 本運行までの間、空白期

についての考えを伺う。 方々に配慮した利用料金 点、障がい者や低所得者の での距離の問題等の改善 また、利用者のバス停ま

運行を継続していく考え 町としては交通弱者の足 らの補助の見通しがたっ の確保という観点からも、 ていない状況ではあるが、 現在、運行に対する国か

善していく。 意見を参考にしながら、改 形態については、利用者の でいる。運行経路など運行

が、今後、十分に検討して 望ましいと考えてはいる いきたい。 金については、10円程度が また、本運行時の乗車料

子どもの 医療費の無料化

木村好孝 議員

どもの貧困が社会問題化 られている。不況下で、子 て支援の取り組みが進め な進行のなか、各地で子育 少子高齢化社会の急激

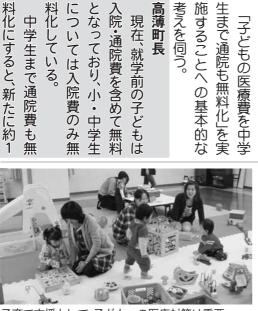
や福祉制度の後退が生活 するなかで、国の社会保障 困難な状況に拍車をかけ

康を守る「子どもの医療費 は の無料化」である。 くり、子育て支援の入り口 子育てしやすい環境づ 、まず子どもの生命と健

生まで通院も無料化」を実 考えを伺う。 施することへの基本的な 「子どもの医療費を中学

局薄町長

料化している。 については入院費のみ無 となっており、小・中学生 人院・通院費を含めて無料 現在、就学前の子どもは



の医療対策は重要

年度は財政の面から、実施 ることになるため、平成23 700万円の経費がかか は難しいと判断した。

検討していきたい。 生まで通院費の無料化を 計画を考慮しながら、中学 平成24年度以降、財政